

3、工場内に於て其の統制下にある各労働組合を通して懇談會員並に職工總代と連絡し各工場毎に職場會議を開催せしめ反對機運の醸成に努むること

5、製鐵所長官を訪問

一月十六日對策委員伊藤卯四郎外七氏は製鐵所長官を訪問し前項の反對理由を述べ陳情したるに對し、中井長官は労働條件を低下せしめること、福利施設の繼續に心配はいらぬこと等説明し不安一掃に努むる旨答へたのである。

6、八幡市長訪問

一月十七日伊藤卯四郎、外一名は八幡市長を訪問し製鐵所助成金の問題、課税問題其の他に^付意見の交換をなしたるに對し、市長は市會協議會を開催し、何分の態度を決定する旨答へた。

7、第三回對策委員會

一月十七日夜開催し左の通決定

a、商工大臣宛陳情書を作成し従業員其他の署名を求めて提出すること（陳情書別紙の通）

b、一月二十日を期し統制下組合並に懇談會員、職工總代と連絡し一齊に署名運動を敢行すること、
かくの如くにしてビラの撒布、陳情書の調印運動等をなすと共に、更に懇談會員を通して平靜なる一般従業員に對し反對運動に合流せしめんとする傍、八幡市會に於ては自派議員をして合同反對を主張せしむる等活潑なる運動を展開して行つたのである。

かくて一月二十一日開催したる懇談會員全員協議會に於ては、官民合同反對同盟が結成さるゝに至り（詳細後述）舊社民黨系と共同闘争を敢行することになり漸次運動の擴